

令和2年度 第3回スカイプ

令和2年 10月 21日(水) 11:00-12:30

今回のスカイプは、タイ王国・日本両国におけるSDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取組を視野に入れて実施した。スカイプ参加生徒6名は、10月5日(月)、本校卒業生の森田隆博氏（53歳、10月1日

付けでJICAタイ事務所長に着任）から興学館で特別講義をしていただいております、それを受けてバンコク生徒への質問を自ら考え、満を持してのスカイプとなった。



Performance by SDG 国名左の数字は、2020年のRANK

	17 日本	41 タイ
1 貧困をなくす	黄	緑
2 飢餓をゼロに	黄	黄
3 健康と福祉	黄	赤
4 質の高い教育	緑	黄
5 ジェンダー平等の実現	赤	黄
6 安全な水とトイレ	黄	黄
7 クリーンエネルギー	黄	黄
8 働きがいと経済成長	黄	黄
9 産業と技術革新	緑	黄
10 人や国の不平等をなくす	黄	赤
11 住み続けられるまちづくり	黄	黄
12 つくる責任、つかう責任	黄	黄
13 気候変動への対策	赤	黄
14 海の豊かさを守る	赤	黄
15 陸の豊かさを守る	赤	黄
16 平和と公正	緑	黄
17 パートナリシップで目標達成	赤	黄

表中の色は、赤→橙→黄→緑の順に達成度が高くなる
<https://dashboards.sdgindex.org/rankings> から抜粋

【スカイプ交流】

前回同様、本校生徒6名は3つのグループに分かれ、各グループで少しずつ核心にふれていくように話を進めていくことにした。

第1グループ（右の表の1・2・3）

「ショッピングモールはあるか→その中にペットショップやフードコートはあるか→フードコートへは誰と行くか、またその頻度は→親からお小遣いはいくらもらうか→日本では大学生になると自由にアルバイトをすることができるがタイではどうか→時給はいくらか→友人でアルバイト帰りにバイクでけがをした人がいて保険で安く済んだが、タイでは保険はあるのか」という流れで進めていく予定であったが、タイでは家族は家で食事をするのが基本である、マクドナルド等へは友人と一緒に行き、その際は100バーツ(約350円)かかる。なお、親からは毎日60バーツもらえる。また放課後は生徒の自由時間であるが宿題があるためすぐに家に帰る生徒が多い、とのこと。残念ながら医療保険の話にまではたどり着けなかった。

第2グループ（右の表の11・13・14・15）

「山や川で遊ぶことはあるか→自然は美しいが牙をむくときもあるのでは→自然災害はどうか(日本では地震がある)→2011年のタイの洪水の被害状況→その災害から得た教訓は→対策として何をしているか」という流れであった。なかなか難しい質問であったが、途中、ノイ先生が助け舟を出してくれたことで、その対策の一つをバンコクの生徒たちが口をそろえて教えてくれた。それはSANDBANK(砂州)であった。まさに、サステナブル。

第3グループ（右の表の4）

「上記の災害関連の話→学校での避難訓練はあるか→高校・大学の費用はいくらか→大学進学率はどのくらいか→進学のための塾に行っているか」という流れであった。避難訓練や塾の話題ではうまく伝わらなくて苦しんだが、タイでは、高校は無償であることがわかるなど意外な発見もあった。

今回は様々な日常的な話題を出しながら、つまりあちこち回り道をしながら着実に進んでいくことにしたが、SDGsのゴールには届かずであった。新型コロナウイルスの影響で、タイでは11月が休みで授業再開は12月から。次回のスカイプは、12月7日(月)を予定している。

